

環境に配慮した活動

環境に配慮したサプライチェーンマネジメント

● 事例：2018年度 調達方針説明会を開催

5月18日大宮ソニックシティー 小ホールにて、293社327名の取引先様（北は岩手県奥州市、南は福岡県直方市）にお集まり頂き、生産センター、品質保証室と合同での『2018年度 調達方針説明会』を開催しました。

当社社長の挨拶に始まり、調達センター・生産センター・品質保証室より当社の近況と2018年度（平成30年度）の生産活動に向けて以下の説明が行われました。

- ① 調達センター新体制と最新営業情報、新機種開発状況
- ② 調達方針～安定調達・原価低減～
- ③ ジャンプ NIIGATA2016 に向けた生産センターの取り組み
- ④ VE 活動について～取引先との開発協業～
- ⑤ 生産センターのLT 短縮の取り組み

- ⑥ 2018年度生産計画 機種別生産動向
- ⑦ 品質保証室による全社の品質改善活動
- ⑧ 取引先での品質改善活動について

今回は取引先評価方針を掲げたことに加え、安定調達・原価低減・品質改善の依頼についても、事例やデータを多く取り入れて説明したことで、取引先様の方々は、最後まで興味を持って聴いていただき、新潟原動機の調達方針を大変良くご理解いただけたと思います。当社の生産状況・計画・改善活動などの情報を公開する事で、取引先様での生産の効率化及びムリ・ムダの排除に役立てて頂くと共に、品質改善活動で後戻り作業を撲滅させるなど、無駄のない省資源で環境に配慮した調達活動を推進しております。



社長あいさつ



調達センター長による説明



参加された購買先の方々



受賞された購買先様

● 事例：MRO 集中購買サービスの活用

MRO 集中購買サービス（以下 MRO）とは、間接材の購買を管理・効率化する発注サービスシステムです。2015 年までに本社・支店、2018 年 8 月には各工場（太田、新潟内燃機、新潟ガスタービン）に導入され全社展開しています。

一般的に MRO で購入した価格は市場価格より 10% 減と言われており、間接材の購入方法を MRO に変更するだけで、集中購買の効果により生産効率が改善し、購入価格の削減が見込まれます。また、購入コストには、購入価格だけではなく、検索から発注・検収・支払まで

の発注作業コストが掛かっており、MRO によりこれら発注業務時間が削減（一件当たり 20 分）され、省エネルギーでの発注が実現できます。

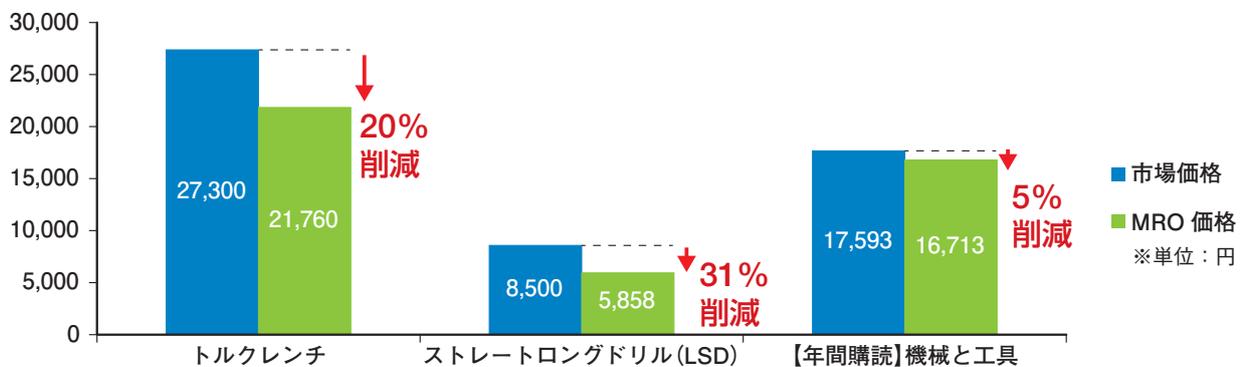
MRO を利用することで購入価格のみならず発注作業コストも低減され、結果として省資源で地球環境に配慮した購買が実現できます。

また同時に、削減された発注作業時間を付加価値のある業務に活かしたり、定時退社に繋げたりすることで職場の働き方改革にも貢献しています。

工場でのMRO集中購買サービス説明会



MRO集中購買サービスの購買実績（工場購入の一例）



業務の効率化

